

全員協議会 会議録（要点筆記）

令和元年11月12日（火）

午後 1時30分 開会

午後 2時20分 閉会

場所 : 全員協議会室

[報告案件]

1 3か年実施計画について

竹部益世企画部長：資料に基づき説明

中川健一議員：今回の3か年実施計画で半田市がこれまで作っている公共施設の総合管理計画に従って床面積を増やしたものと床面積を減らしたものが、具体的にどれぐらいあるのか教えてください。

竹部益世企画部長：今回の実施計画に挙げている内容につきまして今後基本計画、実施計画を作っていくものでありますので、この段階で面積を確定しているものではありません。

中川健一議員：4ページの一般財源の3か年の財政計画のところでは維持補修費というものが平成29年とか30年から毎年減っているのですね。だけどこれだけ公共施設が古くなってきて維持補修費が本来増えていくのではないかと思うのですが、なぜ毎年減っている計画となっているのか教えてください。

竹部益世企画部長：維持補修につきましては、この維持補修費だけではなくて、改修事業として挙げているものもありますので、ここの部分だけとらえると減になるのですが、必要な改修事業をやっていますので、今回の3か年の事業の中にもいくつか計上させていただいております。

中川健一議員：投資的経費について平成29年からみると30年はちょっと減って令和1年は増えて、その後は増える傾向になっているのですが、この増えるのがどこの予算が削られて投資的経費を増やすというような考えになっているのでしょうか。平成29年からみると令和2年、令和3年、令和4年と毎年投資的経費が増えていく予算になっているのですね。ということは、どこからこの予算をとってこないといけないのですが、どこからその予算を生み出して投資的経費を増やしているのか教えていただければと思います。

竹部益世企画部長：今回の財政規模は約400億弱ということで、ある意味好調な税収もある程度期待されているということで、こちらから見込んでいます。

山本半治議員：令和2年度に半田池公園の整備事業が計画されていますが、確か記憶によればこの土地は阿久比町の土地だと思うのですが、阿久比町との話し合いはしっかりついていないとこの計画はできないと思うのですが、その辺はどのようにしているのか教えてください。

大山仁志建設部長：3か年実施計画を作る段階で今年度中に話をつけるということで計画をさせていただきましたが、現在ついていないという状況ですので、このままつかなければ来年については実施しないというかたちになります。

加藤美幸議員：墓地施設のことなのですが、37ページ、38ページのところな

のですけども、この3か年計画の中で設備とか、整備とかそういうことなのですが、例えば新たな墓地の形態ですとか、例えば受益者負担であるとかそういうような会議をすとかアンケートをすとかそういうことは考えられていないのですか。以前、一般質問したときにそういうことを考えていくようなことが回答としてあったと思うのですが。

滝本均市民経済部長：37ページの一番下段のところに墓地施設快適化推進事業とありますが、これは施設の整備事業です。トイレですとか、側溝ですとかということです。ご質問のあった墓地の今後の管理に関しては、この3か年事業ではないですけども通常の経常的なところの費用になりますが、今年度市民の方を始めアンケート調査をいたしまして、来年度墓地の管理計画というのを作成します。その中でアンケートを反映したうえで、今後の墓地の形態を今のような個々に墓石を一つ置くような墓地がいいのかということも検討させていただくことを来年度行っていきます。

新美保博議員：46ページ高齢者運転免許自主返納促進事業が載っていて、返す人たちのために、返してもらえるとバスだとかタクシーのチケット、それに加えて免許を持っていると免許を持っていたという証明書が警察からいただけるのですよ。ところがそれをいただくには1,000円警察に払わなければいけない。1,000円お金を払ってまでそんな証明書いらない、証明書をいらない代わりに返納もしないということがあって、これはちょっと前の話、自主返納を考えたときに、バス代だとかタクシー代を考慮しなければいけないという部分とその手数料の1,000円はなんとかならないかという検討をしてくれということと言った覚えがあるのだけど、それはどこまでいったのかここには載っていない、載っていないということはたぶん検討していないのか、やっていないのか、やっていないならやっていないということを答えてください。

柘植信彦防災監：免許を返納したときに1,000円払うと運転経歴書というかたちのものを発行させていただくシステムがあるのですけれども、免許を返納しますと有料でこれまで顔写真付きのものが何らかのかたちで必要だということで、そういったサービスがあったと思うのですが、免許を返納したときには返納しましたという証明書が発行されますので、申請すれば必ず無料でもらえるものですから、それでもって自主免許の返納の手続きをしていただくということで、必ずしも1,000円払って取得するものが必要ではありませんので、それも証明になるものですから、基本的には返納したときに警察の方からいただける書類を持ってきてください、もしくはその証明書でも結構ですというかたちで事業の方はやらせていただいています。

新美保博議員：1,000円払うものと払わないものがあって、払わなくてももらえる証明書で本当に証明になるということをちゃんと説明してください。その説明がされていないから、みんなが1,000円でもその証明を持っていかなければいけないというふうに思いこんでしまっているのです。だからそういう話が出たのです。ちゃんとわかる説明をしてもらわないと、ここでみんなが分かったでは済まないの、知らしめる方法を考えてください。

榊原純夫市長：申し訳ありません。市報等を通じて改めて徹底をさせていただきま

す。

鈴木健一議員：高齢者運転免許自主返納促進事業なんですけど、何人ぐらい返納するとかそういう目途はみたいなものはあるのでしょうか。

柘植信彦防災監：免許を返納する人を推計しましてその90%が申請をしてくるといいう見込みの予算計上の考え方となっております。

鈴木健一議員：人数を教えてもらっていいですか。

柘植信彦防災監：令和2年度が免許を返納する人の人数としましては349人を見込んでおります。

2 乙川東小学校校舎増築事業について

岩橋平武教育部長：資料に基づき説明

山田清一議員：児童数の増加ということですけども、児童数の推移とか、今後の予測とか、まったく数が載っていないのですけども、なぜこういうものに載せないのでしょうか。

岩橋平武教育部長：推移の表まで付けなかったことは申し訳ありません。実質30年度から31年度に関して27人伸びております。数字としましてここでお伝えさせていただきますと、令和3年度の時点で教室数が一つ増えるだけの子どもの数になるということと、令和5年度にさらにもう一部屋必要になるということで、二部屋の増築をするものです。もう一つの部屋は現在ぎりぎりを使っているということで、日本語教室だとか特別支援に関する部屋を、倉庫を改造した部屋を使っているものですから、そういうものに対応するための三部屋ということになります。子ども数の推移につきましては付けてなくて申し訳ございませんでした。

山田清一議員：今後こういう児童数の増加というだけで済まらずに、きちっと数で書類に明確にさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

岩橋平武教育部長：次回からそのようにさせていただきます。申し訳ございませんでした。

伊藤正興議員：今回建設される場所なのですけども、平屋の建物ということなのですが、こちらの方というのは日当たりの方はいかがですか。

岩橋平武教育部長：日当たりについてはきちっと確保は、100%はできません。どうしても南側から、校舎があるものですから、もともと庭があるところなのですけど、ちょっと北の方になると一部日が当たるのですけども100%は無理です。

伊藤正興議員：この計画があったときから、すでにそういった声が地元からも出たおったというふうに聞いておるのですけど、その辺りというのは考慮された結果がこういうかたちだったということでしょうか。

岩橋平武教育部長：これまでも乙川東小学校については相当子どもの数が地域として増えてきているということで、平成28年に学校選択制を導入しまして、まずはいろんな教室を活用するなかで、乙川小学校、横川小学校、亀崎小学校への選択制というのを28年に導入しました。今、学校選択制を導入しているのは花園小学校と宮池小学校なのですけども、乙川東小学校は思ったほどよその学校を選ばれる方が少なく、この3年間で1年に6人、8人、5人という状況で、なん

とか対応してきたのですが、とてもではないですけど間に合わない状況になりました。何ですぐに対応しなかったかといいますと、乙川東小学校も半田市内の学校の中では三番目に古い学校になっています。間もなく建設の計画も我々の中では考えているところで、新たに多額のお金をかけるよりも、ここで仮設の校舎を建てるということがベターだというふうに判断しました。参考までにこの仮設の今度建てる校舎につきましては、新築のときの仮設の校舎の一部として使うことを考えております。

中川健一議員：今回の増改築事業は総合管理計画とはどのように連動しているのか、要するに企画課の説明では今後は小学校を中心にいろんなまちづくりをしていく方向ですということで、いろんな学校施設の計画を全体的な中で教育部と話し合いをしながら立てているはずなのですが、その全体計画の中でこの増改築はどのような位置づけになっているのか教えていただければと思います。

竹部益世企画部長：先ほど説明がありましたように、建て替えとしてはそう遠くはないのですが少し先です。その中で今回は仮設、それまでの間の必要な教室の確保、それから建て替えにあたってその施設は使いながらということですので、全体、今後の小学校建て替えに伴う施設の算出につきましてはこれからの課題ですので、現段階ではお示しできるものはありません。

中川健一議員：公共施設の総合管理計画とは全く関係ないところで増改築をやっているとそういう理解でよろしいでしょうか。

榑原純夫市長：総合管理計画はですね、基本的な方向性を示すものだというふうに思っています。今回のように個々のもので微細な変更が出てくるものに関しては、その微修正と言いますか、ある程度フレキシブルにやっていく必要があると思いますので、やっぱり総合管理計画というのは基本的な方向をちゃんと示して、これからになると思うのですが、例えば優先的に統廃合すべきものですか、これに関してはある程度早く解消するものに関してはAのものを列記するようなかたちでやっていかなければならないと思いますので、基本的にはその年によってその流れとは少し違う場合も出てきますけども、あくまでトータルとして半田市の公共施設のあり方の基本を示すのが管理計画だと思っていますので、例外的なものが一、二出てくるのはある程度やむを得ない場合もあるかと思いますがぜひご理解いただきたいと思います。

中川健一議員：要するにこれは総合管理計画とは関係ないところで作っているという理解でいいですね。

竹部益世企画部長：総合管理計画で示した現状の床面積を超えないというなかでは、個々で見れば増える減るはありますけども、総量を増やさないという計画を作っていますので、そのなかではきちっと把握しております。

3 新学校給食センター建設事業について

岩橋平武教育部長：資料に基づき説明
質疑なし

[報告案件]

○ 半田市立半田病院の看護師の盗難被害（車上狙い）に係る個人情報の流失について

竹内甲司病院事務局長：資料に基づき説明

山田清一議員：会議録作成のため自宅に持ち帰ろうとしたところだけ教えていただきたいのですが、会議録というのは病院内で時間内に通常やるのが当然だと思うのですが、この方はおそらくやり切れずに持ち帰ってという、おそらくそれまでも経験があるからこういうことがあるのかと思うのですが、その辺り会議録作成というのはどのような状況なのでしょう。

白井麻希看護局長：ご質問のとおり会議録の作成は時間内に行うものであります。実はこの8日の金曜日、本来でしたら残業しながらそれを作成する予定だったと聞いておりますが、待ち合わせ時間も迫っていることから持ち帰ったとそういうことになっております。

坂井美穂議員：個人情報の院外への持ち出しは固く禁じられているということなのですが、院内での個人情報の取り扱いについて教えていただきたいのですが、今回のように印刷したものの院内での処分方法ですね、最終的に処分されるまでどういう取り扱いをするかということなのですが、それについてルールはございますでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：個人情報が記載されたもので廃棄するものにつきましては、そういったものだけを集約をいたしまして院外に漏洩しないようにきちっと処分をするということになっております。

坂井美穂議員：漏洩しないようにきちんと処分するということなのですが、具体的に、例えば必ずシュレッダーをかけるですとか、秘密保持契約をされている外部の業者に処分してもらうとか・・・。

石川英之議長：今回、個人情報の院内の取り扱いについての説明ではありませんので、盗難事件があったことについてのご質問をお願いします。

坂井美穂議員：盗難事件が起きた背景と言いますか、原因が持ち出してしまったということでもありますので、持ち出したということは院内で印刷したもののルールがちゃんと決まっていなかったのではないかと私を思っているというご質問をさせていただいております。という意味から、院内のルールとしてきちんと取り組んでいるというお答えでありましたが、その具体的な取り組みというところを私は確認をさせていただきたいと思っております。

竹内甲司病院事務局長：簡易な、量の少ないものについては、シュレッダーにかけておりますし、過去に蓄積された紙カルテのようなものについては、情報セキュリティの契約をきちっと保持した契約業者に委託をして廃棄をして、それをきちんと処分したことを証明するような書類なども提出させていただいております。それから院内のルールでございますけれども、総合医療情報システム運用管理規定というのがございまして、重要度の高いドキュメントや帳票のコピーは、持ち出しは運用責任者、これは所属長ですが、所属長の許可を得なければならないというふうな規定をしております、残念ながら今回のケースは所属長の許可は得ておりませんでした。

鈴木健一議員：この日はたまたま同僚の方と待ち合わせがあつたということだった

のですが、持ち出しが禁じられている書類を持って帰ると、そういうときに例えば上司へ相談とかなかったのでしょうか。

白井麻希看護局長：今回は上司への相談はしておりませんでした。

鈴木健一議員：となるとですね、仕事を持って帰って家でやると、ということが常態化していませんかということが実は聞きたいのです。これはすごく問題で残業時間にも含まれない、ただ働きというのが横行してないかというのは把握していますか。

白井麻希看護局長：今回の事件を踏まえまして、今一度再確認したいと思っております。

鈴木健一議員：ぜひ徹底していただいて、持って帰らないというふうにしないと必ずまた起こるのでよろしくをお願いします。

水野尚美議員：これまでも半田市の中で盗難というのは初めてではないと思うのです。その度に同じような今後気を付けるという答弁がきつとあったかと思うのですが、市全体として今後このような盗難に対しての取り組みに関してはどのようにしていかれるということが今、現時点で決まっているのでしょうか。

堀寄敬雄副市長：今日もこの全員協議会が終わりましたらすぐにもう一度改めてこういった文書の取り扱いの仕方についての注意喚起の文書を総務課の方から全職員に向けて発送する準備はしております。

水野尚美議員：そのように緊急に取り組んでいただくことと、毎回繰り返されるといことが本当に今後無いように徹底して、一人一人がそういう意思でやっただくようにその辺は統一していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

新美保博議員：前に学校の先生ではなかったか、パソコンを持って盗まれてということが。先ほど水野議員が言われたように毎回ですよ。12月は専決処分あります。毎回、専決処分が出てその担当課が気を付けます、今後二度とやらないよというけども、違う課がやったり、部がやったり、毎回やっているのです。本当にまず疑えというのは僕にとっては盗難かと思っている。この情報このペラの中を見て、さほど情報として、確かに持ち出せる情報ではない、表に出す情報ではないけども、これを盗んでまでやるほどの情報かということこれは情報の重みはよくわからない。だと言ってもこれが盗まれたものの中に、盗んだということにせざるを得なかった、わからないから。まあ、どこかで調べるのでしょうか、それよりも何回も同じことを繰り返すという、もうそろそろ、注意喚起のペラだとかルールを何とかだとか、ルールなんか作ったって一緒ですよ、やる人がその気にならなければ。職員が絶対に守るのだと気がなかつたら、絶対にルール作ったって一緒ですよ。縛れば縛るほど抜ける人がいるわけだから、そういったときに、もうそろそろ罰則があってもいいのではないですか。何の罰則もないでしょう。すいません、ごめんなさい、お金を払えば済むのしょうという制度をそろそろ見直ししないと、何をしても許されてしまう、俗に言えば赤信号みんなで渡れば怖くないという話と同じことを実践しているのです。市役所の職員は、公務員は、僕らも入るのかもしれないけど、そろそろ襟を正さないとやっぱりまた同じことがすぐある気がする。それについて市長の考えを教えてください。

榑原純夫市長：再び起きてしまったことに対して申し訳なく思っております。再度幹部会を通じても徹底させますし、今一度厳しい通達、情報伝達を職員に対して広く、再度徹底させていただきたいと思ひます。申し訳ございませんでした。

午後 2時20分 閉会